

# 復興を歩む

vol.15

## 飯野出張所閉所式

7月から村役場機能の大半が本庁舎に戻るのを前に、6月22日、飯野支所2階の会議室で「飯野出張所閉所式」を行いました。

役場機能を飯野出張所に移したの  
は、村民の避難がおおむね終了した  
平成23年の同じく6月22日。5年前  
の記憶がよみがえります。

会場は、これまで数えきれないほどの懇談会や会議を開いてきた会議室です。会場いっぱい村民が議論したことも、村が国務大臣に直談判をしたこともありました。

閉所式では、菅野村長が、深い感謝を述べました。

避難者でこった返す福島市役所に足を運び、仮設住宅用地の提供と合わせて、役場の機能移転を飯野支所にとお願いしました。快く承諾をいただき現在に至っています。支所では、あらゆる部屋を

使わせてもらい、かつ飯野学習センターなども頻繁に活用させてもらうなどして、非常に多くの機会を開かせていただきました。それが、復興へ準備を進められた最大の要因と考えます。そして何より、飯野町の方々に、広い気持ちで迎えていただいたこと、見守っていただいたことで、村の現在があると思っています。これだけ温かいお心や応援をいただけてきたのですから、何としても村の復興を成し遂げなければなりません。時間がかかっても必ずふるさと飯館村を復興させお応えしたいと思っています。本当にありがとうございます。

また、小林香福島市長、飯野地区自治振興協議会の菅野幸居会長、飯野町商工会の高槻秀夫会長に感謝状を贈り、これまでの支援に改めて感謝を伝え、変わらぬ支援をお願いしました。式の終わりには、これまでの足跡を振り返る映像を上映し、約50人の列席者が、5年の日々を心に刻み



閉所式の後、玄関に掲げられていた「飯野出張所」の看板が取り外され、新たに「飯野支所」の看板が掲げられました。付け替える両方の看板を手にする(左から)大谷村議会議長、菅野村長、小林香福島市長、高木克尚福島市議会議長。村役場は、ここに飯野支所の機能を残し、7月から本庁舎での業務を再開しています。